



ミクシィは、本社の撮影スタジオでバーチャルプロダクションの実証実験を実施。Unreal Engineを使ったライブ配信の表現力向上や作業の自動化に取り組んでいる(写真は「デザイナーズミーティング #4」の撮影風景) 〔詳細2面〕

ミクシィは、本社の撮影スタジオでバーチャルプロダクションの実証実験を実施。Unreal Engineを使ったライブ配信の表現力向上や作業の自動化に取り組んでいる(写真は「デザイナーズミーティング #4」の撮影風景) 〔詳細2面〕

BB代替には一定の合理性 住民の受容性など実証へ

総務省・飯倉 放送政策課長に聞く

中継局やマスターの「共用」、一定の合理性があることは確認できた」との認識が示された。また、「IPユニキャスト方式が小規模中継局等の代替としてある程度の経済合理性が期待できるなどと記載された。こうした取りまとめの方向性が示せたことは良かった。しかしながら現実の選択肢とするとには今後、事業者とともに中身を詰めていかなくてはならない」と話す。

中・大規模局への拡大は先々のテーマ

中継局やマスターの「共同利用型モデル」(ハーフド・ド・ド・ド)の設立が経営の選択肢になると提言され、ミニサテのBB代替に関しては、IPユニキャスト方式が小規模中継局等の代替としてある程度の経済合理性が期待できるなどと記載された。

BB代替については、ミニサテの周波数を有効活用できるという期待があるのか。

飯倉氏は、「仮にBB代替が進めば、空いた周波数は返上してもらうことになるが、BB代替はあくまで放送事業者の選択肢の1つとして提案しているもので、周波数政策としてやっているものではない」と説明している。

今後の展開については、放送インフラに関する話題。

「放送ネットワークの「放送ネットワークの将来的な展開などについて、検討会の実施を主導した総務省情報流通行政局放送政策課長の飯倉主税氏に聞いた。」

「放送の将来像・制度の在り方・取りまとめ」の成果

今回の取りまとめに沿って、中継局を運営する子会社やミニサテのBB代替を2026年ごろから実施できるよう検討していくという。

BB代替については、「本当にできるのかを含む課題は、放送事業者が現在負担だと思っている部分を切り出すことだ」と、対象は条件不利地域であることを明言。検討会の最初のころの放送事業者向けのアンケートでも、ミニサテや小規模中継局の負担が大きく、それを解消したいという意見が多数あったことを挙げ、「まずはこの排)についても省令を変える作業を進める。

BB代替については、「本当にできるのかを含む課題は、放送事業者

が可能となる制度の創設

</div

「放送制度の在り方検討会」発足の契機

総務省情報流行政局 放送政策課長の飯倉主税氏、「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」(以下、検討会)を発足させた。契機、論点の設定、マス排や放送対象地域の規制緩和など、これまで議論が避けられていた部分に切り込んだ理由などについて聞いた。

10年後のイメージ合わせから

「検討会の発足にはどのようななきつかけがあるのか。」

「私は7年ほど前、放送政策課でNHK担当の企画官をしていた。NHKのネット活用業務については、当時から議論はあったものの、昨年、放送政策課長に着任してみると世の中があまり進んでいないことに驚いた」

「一方では、コロナ禍で、特にローカル局の、ミニサテやマスター設備への投資が厳しい状況に

域といった放送の規制については、これまで表題には上つても深く議論されることは無かったと思う。今回、それに踏み込んだのは、放送の置かれていた状況が、これまで以上に厳しいものになつて

ない世帯が確実に増えて

いる」と指摘。

「こうした中で『テレビ

ができない。ここには強

く考えており、ここには強

合理化・柔軟性の確保が必須に

あるといった、経営の持続に関する不安の声が届いており、将来について検討が必要と考えた

「民放については系列ごと、系列間でもギー局とローカル局で考え方が異なり、どこから手を付

いていた」

「一方では、マス排

で、特にローカル局の、ミニサテやマスター設備への投資が厳しい状況に

ついては、これまで表題には上つても深く議論されることは無かった」と指摘。

「こうした中で『テレビ

ができない。ここには強

く考えており、ここには強

けていいか分からず、年後のイメージ合わせからスタートさせようと思つた」

「マスターのクラウド化に関しては、慎重な意見もあったので、議論の順番がマス排や経営問題の後にになったことは、結果的に良かった」

「1つは、放送のインバウンドで、それができたことから放送インフラのロードバン

化に関しては、慎重な意見もあったので、議論の順番がマス排や経営問題の後にになったことは、結果的に良かった」

「マスターのクラウド化に関しては、慎重な意見もあったので、議論の順番がマス排や経営問題の後にになったことは、結果的に良かった」

「マスターのクラウド化に関しては、慎重な意見もあったので、議論の順番がマス排や経営問題の後にになったことは、結果的に良かった」

「マスターのクラウド化に関しては、慎重な意見もあったので、議論の順番がマス排や経営問題の後にになったことは、結果的に良かった」

「マスターのクラウド化に関しては、慎重な意見もあったので、議論の順番がマス排や経営問題の後にになったことは、結果的に良かった」

「マスターのクラウド化に関しては、慎重な意見もあったので、議論の順番がマス排や経営問題の後にになったことは、結果的に良かった」

1年前の規制改革会議で

その緩和について書かれ

ており、期限が今年3月

末であった。よってまず

マス排

さらに経営の問

題として放送対象地域の

2つについて、何とか3

月くらいまでに一定の整

理ができればと思うてス

タートし、それができた

ことから放送インフラの

方に向かうこととした」

「マスターのクラウド化

に関しては、慎重な意

見もあったので、議論の

順番がマス排や経営問題

の後にになったことは、結

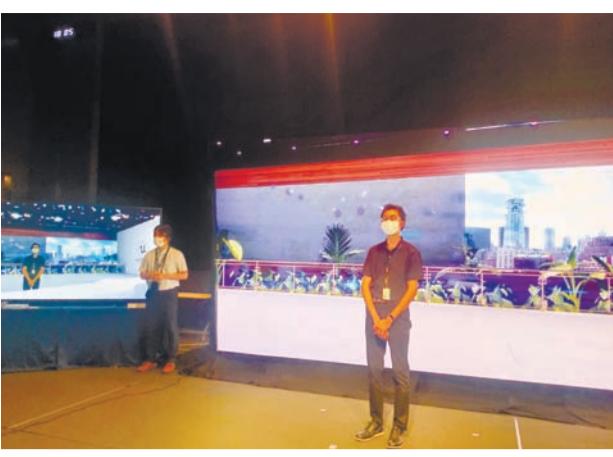
果的に良かった」

「マスターのクラウド化

ソニーがビジネスソリューション内見会

クリスタルLEDなど展示

幅広いラインアップを披露



XRのバーチャルプレゼンテーションのデモ。右がクリスタルLEDのBシリーズ、左は液晶画面

DSJ2022に出展

丸型のLEDなど提案

ニッシントーア・岩尾

ニッシントーア・岩尾「DSJ2022では、かい空間に変える『Round Display』や、丸く柔らかがるLEDで柱巻や半円もできる『Magic Flex』『semi Magic Flex』や、透けるLEDでガラ

は、6月に幕張メッセで開かれた「デジタルサイネージジャパン2022 (DSJ2022)」で多彩なLEDディスプレー

製品を出展した。同社は、日本科学未来館(科学未来館)の3階にある案内表示用の大型LEDディスプレーシステムを納入するなど、各方面で大型LEDの販売実績を伸ばしている。



DSJ2022で展示した丸形LED

サンエイテレビ 透過型LEDビジョン リアル広告EXPOで展示



SAN Vision AVENUE85

サンエイテレビは『第14回JapanマーケティングWeek(夏)』で、透过型LEDビジョン「S

(7月6~8日、東京ビックサイト)のリアル広告EXPOに出展し、透

り、透過率85%と高いシースルーエフェクトが特徴。中国で生産することで製造コストを下げた。サンエイテレビ執行役

ス面に使える『Transparent Series/Transparent Glass』などを展示し、LEDの多様な使い方を提案した」と話す。

ニッシントーア・岩尾「当社では顧客の要望

を重視した」という。『SAN Vision AVENUE85』を展示した。

「SAN E85」は、同社が開発したデジタルサイネージ用大型LEDディスプレー。最大幅3.5m×高さ5mのサイ

は、6月に幕張メッセで開かれた「デジタルサイネージジャパン2022 (DSJ2022)」で多

く、丸く柔らかがるLEDで柱巻や半円もできる『Magic Flex』『semi Magic Flex』や、透けるLEDでガラ

る。特に、オフィスエン

ターラー、博物館・美術館などの使用に適している。



サンエイテレビの透過型LEDビジョン

SYMUNITY GROUP

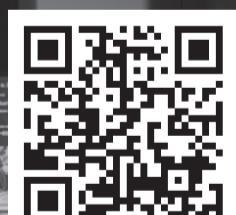
SYMDIRECT

TAKENAKA
the SOLID WATER

Symunity XR Studio

1つのスタジオで無限の空間へ

www.symunity.co.jp/xr-studio/



高精細LED
ディスプレイの
ステージセット



カメラトラッキングで
リアルタイムレンダリング
されるコンテンツ

シンユニティグループは、これらを組み合わせた
バーチャルプロダクションに取り組んでいます

「九州放送機器展2022」開催

各社から最新の機器・ソリューション

カメラコーナーやIP中継車の展示も

【九州放送機器展2022】
公式サイト www.q-ki.jp

九州最大の映像・音響・照明・通信のプロフェッショナル展「九州放送機器展2022」(略称: QBE)主催: 日本ポストプロダクション協会「JPPA」が7月21、22日(10時~17時)に、福岡市博多区の福岡国際センターで3年ぶりに開催される。約100社が出展する展示会場は「映像ゾーン」「オーディオゾーン」「照明ゾーン」に分け、最新の機器・ソリューションを披露。出展社および主催者によるセミナーも実施する。入場無料(事前登録制)。

◆カメラコーナー
ステージ前に恒例のカメラコーナーを設ける。

◆スピーカー・ヘッドホン
モデルを試せる。



各社が最新の機器・ソリューションを披露する

◆オーディオゾーン
DAW、マイクロホン、各種収録機器、関連ソフト

◆照明ゾーン
LEDやモニター、三脚、スタビライザー、ドローン関連機器、編集ソフト、スイッチャー、テロッパー、光ケーブルなどを各社が展出。放送局、ポス

トロダクション、ブリ

◆映像ゾーン

展示会場の「映像ゾーン」では、IP関連機器やカメラ関連機器をはじめ、各種伝送ソリューション、クラウドシステム、



九州放送機器展は3年ぶりの開催となる(写真は2019年開催時の会場の様子)

九州放送機器展2022出展者 (50音順)

アートウイズ	学校法人 滋慶学園 福岡スクールオブミュージック ダンス専門学校
アイ・ディー・エクス	シダーグロウ
アイ・ディ・ケイ	ジャパンマテリアル
アガイ商事	昭特製作所
ACTアクト	新協社
朝日本木材加工	スタジオイクリメント
麻布リース	スタッフ
アストロデザイン	ストロベリーメディアアーツ
アプロット	Zunow
専門学校ESPエンタテインメント福岡	ゼンハイザージャパン
池上通信機	タックシステム
伊藤忠ケーブリシステム	タムラ製作所
イメージニクス	テクノハウス
イメージネット	デジタル・ラボラトリー
インターネットイニシアティブ	電波新聞社
ヴィデンダムメディアソリューションズ	Too
ウエタックス	日本音響エンジニアリング
ATENジャパン	日本ビデオシステム
エーティコミュニケーションズ	ノイトリック
ATL-KYOEI	花岡無線電機
エーディテクノ	パナソニック コネクト 現場ソリューションカンパニー
エス・シー・アライアンス SCAサウンドソリューションズ社	BEA・CREW
エヌ・イー・ピー	ビーテック
エヌジーシー	ビジュアル・グラフィックス
M&Next	ビデオサービス
オーディオテクニカ	ビデオトロン
オーディオブレインズ	ヒビノライティング
オーディオストック	華為技術日本
オタリテック	フォトロン
音響特機	富士ライト商事
カナレ電気	ブラックマジックデザイン
ガンスイ	プロスパー電子
岸無線サウンド	平和精機工業
キヤノンマーケティングジャパン	朋栄
QTnet	MARTIN AUDIO JAPAN Inc.
専門学校 九州ビジュアルアーツ	マウスコンピューター
共栄商事	松田通商
銀一	ミックスウェーブ
銀座十字屋 ディリゲント事業部	三友
グラスバレー	武蔵エスアイ
クロスイメージング	武蔵オプティカルシステム
ケイテック	MEDIAEDGE
ケンコープロフェショナルイメージング	リーダー電子
江東電気	ルミネックスジャパン
コスミックエンジニアリング	レスター・コミュニケーションズ
CES Industrial	ローランド
シグマシステムエンジニアリング	



英国発 新世代のシネマティック・ライティング上陸



- 世界初 電子制御ディフューザー SmartSoft™搭載
- 鮮やかな色彩を表現する最先端のRGBWW LED (1670万色)
- 直感的に扱えるタッチスクリーンディスプレイ
- 世界初 ハイスピードシンクロフラッシュ撮影が可能 (同調速度 1/8000秒)
- LumenRadio (CRMX)、有線/無線DMX、Bluetoothを標準装備

Rotolight 日本代理店

Dirigent

株式会社銀座十字屋ディリゲント事業部
〒104-0045 東京都中央区築地4-4-15-10F
TEL: 03-6264-7820 (代) <https://dirigent.jp>



九州放送機器展2022に出展します。福岡国際センター: 7/21(木)~22(金) / ブースNo.C-18

"ライバル達は、Titan™ X2に匹敵する機能性とパワーを持つライトを作ることはできないだろう。どんな価格であっても"

- Adam Duckworth (Pro Moviemaker 編集長)

4K対応H・264エンコーダー



ジャパンマテリアル

「Matrox Ma sign」に対応したオブジェクトマッピングシステムを披露する。

ツサ「MUX-SH5 0446」とマルチディスプレーコントローラ「GeoBox G4 06L」を組み合わせたシステムは、複数の映像信号を合成して、複数台のディスプレーに分割表示できる。タブレットなど外部制御機器からも画面制御が可能。

システムは、複数の映像

信号を合成して、複数台

のディスプレーに分割表

示できる。タブレットな

ど外部制御機器からも画

面制御が可能。

モバイルノートPC提案

クリエイター向け高性能モバイルノートPC提案

マウス

コンピューター

マウスコンピューター

マウスコンピューター

DAIV 5N

編集システムの最新バージョン

送出機器への登録まで
シンプルな操作性が特徴。

レスター・コミュニケーションズ

レスター・コミュニケーションズは Mistik a Uniqueの最新バージョンとして「Mistika 10.5」を披露。ACES・3対応、カラーマネジメントおよびカラートレーディング機能の進化などを図った。



Mistika

「Mistika Workflows」は、SGO社が新たに開発したファイル変換・メディアマネジメントおよびポート機能の拡充、コンフォームやインポート機能の進化などを図った。

伊藤忠ケーブルシステム

J-NEWSは、報道支援システムと連携し、収録から編集・送出までを管理サポートする。また、「Cerca」は、報道支援システムとの連携

「Facilis HUB」は、国内導入実績多数のプロ映像音声編集用ストレージシステム。

伊藤忠ケーブルシステムが開発する「アビッドリース」、新機能が追加されたシステム周辺機器「One Pack II シリーズ」、防振装置・地図合成システム「SHOT OVER M1」、FPU装置など、4

池上通信機は、HFRとM0IPに対応した4K/HDカメラシステムとUHDカメラシステム「U-X750/CU-X100」および小型3Uサイズのスイッチャー



UHK-X750

池上通信機は、HFRとM0IPに対応した4K/HDカメラシステムとUHDカメラシステム「U-X750/CU-X100」および小型3Uサイズのスイッチャー

銀座十字屋ディリゲント事業部

次世代の撮影用LEDライト プロ向け記録メディアも

銀座十字屋ディリゲント事業部は、オーストリア発のプロフェッショナル向け記録メディア「Angelbird (エンジェルバード)」と、英



ロトライドの新製品

また、ST2110メティアストリーム伝送、PTPの超広域の同期結合、N

MOSによるLEDライトの2ブランドを展示する。ロトライドのLEDライト「Rotolight (ロトライド)」と、英

国発の革新的な特許技術を備えた次世代の撮影用

LEDライト「Rotolight (ロトライド)」と、英

国発の

「破 戒」



「破戒」(丑松と志保)
©全国水平社創立100周年記念映画製作委員会

被差別部落問題に対する強い意思表示

島崎藤村の名作3度目の映画化

◆部落民(エタとも呼ぶ)の被差別部落問題(以下、部落問題)に対する正面切っての意思表示がある。部落民に対する差別は主として関西に多いと言われ(実際には東京もある)、筆者には直接の見聞はない。しかし、同じような差別問題としての朝鮮人差別の一端は垣間見ており、そこから部落問題を想像することはできる。その作品が、『破戒』(2022年/監督・前田和男、脚本・加藤正人、本間紀生、製作・全国水平社創立100周年記念映画製作委員会、上映時間・119分)である。(中川洋吉・映画評論家)

◆過去の『破戒』 落について語る上で大事な日である。ここで、全国など諸説があり、確定した時期ははっきりしない。また、江戸時代、幕府が農民を引き付けるために、士農工商の下に置いた説が流布されているが、大体、士農工商の序列がいつ確立されたのかはつきりせず、この江戸時代も確定的学説とはなっていない。その後、明治時代に部落民解放会が出されだが、今もって差別は存続する。部落民の解放運動の全国

◆団体としての産声 その後、丑松(うし)と志保(じほ)の名前、木下恵介監督を起用した。しかし、彼自身、社会問題に関心の薄い監督ではない。

◆突然の費替え 2作目は市川崑監督の『破戒』(1962年、大映製作)である。主人公の丑松には市川雷蔵が扮(ふん)し、相手役は藤村志保である。厳しいアリズム、雷蔵の悲壮感が見どころで、ラストで丑松がエタであることを

◆部落民への差別が浮き彫りにされる。部落民の撤廃を主張する思想家である。また、三國連太郎が演じる猪子連太郎は、差別

◆志保との出会い 田雅一が原作から、そのまま藤村は、大映社長の永田雅一が原作から、その作品が彼女のデビュー

◆猪子への傾倒 田雅一が原作から、そのまま藤村は、大映社長の永田雅一が原作から、その作品が彼女のデビュー

◆八方塞がりの丑松 職員室では、丑松の出

◆丑松の決心 丑松は、反差別の思想家、猪子連太郎を尊

◆八方塞がりの丑松 丑松は、反差別の思想家、猪子連太郎を尊

◆丑松の決心 丑松は、反差別の思想家、猪子連太郎を尊</p

ダイキン工業／オートデスク CGクリエイター向けに オンラインイベント開く

ダイキン工業は、オートデスクの特別協賛を受け、CGクリエイター向けオンラインイベント『DAIKIN×Autodesk CG Chat』を7月20日(木)～22日(土)に開く。

同イベントは、クリエイターを対象にCG制作の最新トレンドに触れる機会や、制作スキル向上に役立つ機会を提供することを目的に実施。3次元仮想空間での新たなビジネスや生活様式を提供する期待されるメタバ

スの最新動向、CG制作の第一線で活躍する12年以降、外部講師を招い

て、CGクリエイター向けのプロフェッショナルのオンラインセミナーを定期的に開催するとともに、セミナーのアーカイ

ブ映像やTips(機能・

オブジェクト形式で無料配信する。

ダイキン工業は、電子システム事業において約

30年にわたり、3DCG

分野で各種ソフトの販売

やサポート、システム構

築に取り組み、現在では、

オートデスクの「コレク

パートナー」にも認定され

ている。

クリエイター支援にも

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日から29日間、内覧会

「プライベートショーケース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

製造などの多様な分野に

注力しており、2018

操作解説)をウェブコン

録制】

【詳細・申し込み】www.daikin.co.jp/DCCChannel1

comtec.daikin.co.jp/DCC

【会期】7月27日(木)～8月

2日(日)／23時

／event/20207-cgcweek

アストロデザイン 京都に新オフィス開設

7月28、29日に内覧会も

向けて、高精細映像技術を活用したソリューションを提案する。

【京都オフィス】

【名称】京都オフィスT

ールズ

京都オフィスT

EST Lab

【所在地】京都市下京区

烏丸通五条下ル大坂町3

94 京都近江屋ビル2

F／E 075-746-

5905

アストロデザインは、

7月25日から大阪営業所

日から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

スの披露も兼ね、7月28日

から2日間、内覧会

「プライベートショーケ

ース」(大阪市東淀川区)を京

都市下京区に移転し、同

「O22 京都」を開く。

放送、芸術、医療、公兵、

新設する。この新オフィ

ランサムウェアの手が届かない場所は、あなたの手が届くオフィスの棚です。

長引くパンデミックやウクライナ侵攻など、世界中が混迷を極めている状況のなか、主に製造業界の企業を狙ったサイバー攻撃が相次いでいます。この数年はアジア圏での件数が急増、特にニューノーマルな働き方を狙ったランサムウェアやサーバーアタックによる被害が多数報告されています。このようなサイバー攻撃は、会社の存続自体に影響を与える可能性もあるため早急な対策が必要です。もちろん侵入を防ぐことが第一ですが、万が一入り込まれても重要なデータが“手の届かない場所”に保存できていれば、最悪の事態を回避することができます。つまり完全にネットワークから切り離したところに復旧に必要なすべてのデータを保存する事が、最大の防御策と言えるのです。そのソリューションとして、1巻に最大約45TBのデータを保存できる磁気テープ『LTO』が注目されています。数週間分のバックアップデータを保存したとしてもカートリッジを増やすだけで対応でき、衝撃にも強く、オフィスの棚などで保管できるため外付けHDDのように電力も使用しません。低コスト、省スペース、省エネ、CO₂削減などメリットばかりのメディアですが、サーバーとSAS接続し専門性の高い操作が必要というデメリットもあります。そこでユニテックスでは、LTOをノートPCなどUSB接続で簡単に操作できるハードウェアとソフトウェアをご用意。複雑なシステム構成は不要で、すぐにでもサイバー攻撃対策を講じることが可能です。何気なくオンライン上に置いている大切なデータが脅かされる前に、いますぐUSB-LTOでオフライン管理を。

※上記の文字ブロックは、LTOカートリッジのサイズとほぼ同じです。



※記載の会社名、商品名、ソフトウェア名は各社の商標あるいは登録商標です。※記載の内容、仕様、デザインなどは予告なく変更および終了となることがありますのでご了承ください。

▶お問い合わせ・ご相談は 株式会社 ユニテックス 〒194-0021 東京都町田市中町2-2-4 ユニテックスビル TEL:(050)3386-1242 FAX:(042)710-4660

<https://www.unitex.co.jp>